

秋田県立視覚支援学校

生活情報科で学んだ方の声

「役に立った学習は歩行」

今は、往復2kmのコースを一人で散歩しています。また、音声ガイドを活用して、妻と映画館で映画を楽しむなど、余暇を充実させるための情報も得られました。

（50代で入学し、現在は自宅で過ごすAさん）



「生活情報科は、自分に必要なことが学べるところ」

白杖を使った歩行を学び、JRを利用して学校から帰省したり、近くのコンビニまで行ったりできるようになりました。音声パソコンも、情報収集に役立っています。

（30代で入学し、現在は理療科に在籍するBさん）



「ゼロから教わったパソコンが、今の学習につながっています」

ずっと見えにくさはあったのですが、より見えづらくなり、子どもが手を離れたこともあって、学校に電話しました。現在は、理療科に入学し、生活情報科で学んだパソコンを学習手段として国家資格取得を目指しています。

もし、悩んでいる人がいたら、視覚支援学校に連絡してほしいです。とりあえず「一歩」踏み出すことから始めてほしいと思います。

（50代で入学し、現在は理療科に在籍するCさん）



見えにくくても、見えなくても学べます！

見えにくさのある方が 生活の技術を学べる学科です

秋田県立視覚支援学校の「生活情報科」は、中途視覚障害者等の成人の方に対して、教育的リハビリテーション支援を行う1年課程の学科です。日常生活及び社会自立に向けて、生活技術の習得等をねらいとした実践的な学習を行います。

学習内容

1 歩行・移動に関する学習

安全な屋内歩行、
白杖を使用した屋外歩行、
公共交通機関の利用 等

2 情報・コミュニケーションに関する学習

音声パソコンの基礎、
拡大読書器の操作、
点字の基礎 等

3 日常生活動作に関する学習

家庭生活の基礎的な動作の習得、
視覚に配慮した生活用具の活用 等

4 社会参加・余暇等に関する学習

福祉制度の理解と活用、
視覚障害者スポーツ、
美術・創作活動 等

※一人一人見え方が違うように、困っていることもそれぞれ違います。上記の4つの内容を基本としながら、面談を通して、ご本人やご家族と一緒にニーズに合わせた学習内容を計画します。



J R の利用



サウンドテーブルテニス



電磁調理器の活用

見え方でお困りのことが
あれば、いつでもご連絡
ください。

学校のキャラクター
「チューモくん」

学校
webサイト



秋田県立視覚支援学校

ロービジョン支援センター

住所：〒010-1409 秋田市南ケ丘一丁目1-1

電話：018-889-5751

FAX：018-889-8575

E-mail：shikaku-s@akita-pref.ed.jp